



第18回 Society of Human Well-Being 2017

人間福祉学会



タイトル「しあわせ」 画：有賀 宣美さん

テーマ

保育・教育における福祉を深める

子どもの権利条約や障害者権利条約が批准され、子どもたちの命と尊厳を守る子育て、保育、教育の進展が求められています。しかし、貧困や虐待、暴力や戦争への不安など、子どもを取り巻く環境は厳しさを増しており、発達障がいや不登校、外国籍など、特別なニーズをもつ子どもたちへの対応を充実する必要性が高まっています。そこで、今大会では、子どもたち一人ひとりの発達を支援していくために、福祉の視点を深める実践、研究の創造をテーマに考えていきます。

基調講演



「日本で育つすべての子どもに良き日々を！
—進化発達支援論がめざすもの—」

追手門学院大学 心理学部 教授

竹下 秀子 氏

【プロフィール】 京都大学教育学部卒業、京都大学博士（教育学）。滋賀県立大学人間文化学部教授を経て、2017年より現職。滋賀県立大学名誉教授。人間の発達がどのように進化してきたかという観点から、胎児期からの発達の原理と人間的発達を支える社会のあり方について研究。現在は、外国人集住地域の多言語・多文化環境で育つ子どもや、動物園など人間の社会文化的環境で育つ大型類人猿の子どもの多様なコミュニケーションの発達、支援のあり方について研究を進めている。

日時

2017年
11月12日 日
10:00～16:30

場所

中部学院大学
各務原キャンパス

参加無料
申込不要

(岐阜県各務原市那加甥田町 30-1 TEL 058-375-3600)

大会長：宮本 正一（中部学院大学教育学部長）

主催：人間福祉学会 共催：中部学院大学・中部学院大学短期大学部

後援：岐阜県・岐阜市・関市・各務原市・岐阜県教育委員会・岐阜市教育委員会・関市教育委員会・各務原市教育委員会・岐阜県社会福祉協議会・岐阜市社会福祉協議会・関市社会福祉協議会・各務原市社会福祉協議会・（一社）岐阜県社会福祉士会・（公社）岐阜県理学療法士会・（一社）岐阜県作業療法士会・（一社）岐阜県介護福祉士会・（公社）岐阜県看護協会・（一社）岐阜県障害者スポーツ協会・日本学校心理士会岐阜支部・全国障害者問題研究会岐阜支部・岐阜県 LD 等親の会「れんげの会」・岐阜大学〔順不同〕

※学校心理士更新ポイント（B1）申請中



2017年11月12日(日) 10:00 ~ 16:30

- 9:30 ~ 受付
- 10:00 ~ 12:00 研究発表 下記 HP からお申込み方法をご確認の上、8月31日(木)までにメールでお申込みください。
- 12:00 ~ 昼休み
- 12:45 ~ 13:10 人間福祉学会 総会
- 13:15 ~ 14:45 基調講演 講師 竹下 秀子 氏 (追手門学院大学 心理学部 教授)
- 15:00 ~ 16:30 シンポジウム

「日本で育つすべての子どもに良き日々を！—進化発達支援論がめざすもの—」

「保育や学校における発達支援・家庭福祉—多様な専門職の連携—」

現在、保育や学校現場では、不登校や発達障がいなどがあり特別なサポートが必要な子ども、外国籍や要保護家庭の子どもが増えており、関係者はその対応に懸命に取り組んでいる一方で、課題も抱えています。国や地方自治体はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめとする多様な専門職スタッフの配置など制度整備や対策を講じていますが、こうした対応は歴史的にすでに行われてきており、子どもの発達支援・家庭福祉が重視されながら、研究が現場の状況に十分にコミットしていなかったことも指摘されています。本シンポジウムは、そうした歴史的な経過をさかのぼりながら、学問領域や職域を越えた多職種連携と、あらたな発達支援や家庭福祉学を展望していくために、子どもや子育ての実態や現場の実践をふまえた議論を行っていきたくと考えます。

【シンポジスト】

蜂谷 明子 氏 開業小児科医師からみた最近の親子の姿と発達支援

(蜂谷医院 小児科医師)

名古屋保健衛生大学医学部卒。日本小児科医会・子どもの心対策部・子どもの心研修委員、岐阜県教育委員会・特別支援専門相談支援員、恵那市学校保健会長、恵那市次世代育成市民会議委員長、岐阜県小児科医会常任理事など。「多職種連携なくしては発達支援は進まない」との思いを持ち、開業医として日々診察を行いつつ、子育て支援や保育所や学校医活動など、現場に出向いて相談活動も行っている。その活動からみえてきた課題について語る。

小久保 裕美 氏 社会福祉学、ソーシャルワーカーからみた家庭福祉

(東海学園大学 教育学部 教授)

日本福祉大学大学院社会福祉学専攻博士後期課程修了。博士(社会福祉学)。社会福祉士、精神保健福祉士。北林病院における21年間の精神科ソーシャルワーカー経験を経て現職。日本子ども虐待防止学会評議員、みよし市いじめ問題調査委員など地域の要保護家庭の問題に取り組んでいる。今回はソーシャルワーカーの実務経験や研究・社会活動をふまえた家庭福祉の現状と課題について語る。

別府 悦子 氏 小中学校・保育園の巡回相談と発達障がい児の支援

(中部学院大学 教育学部 教授、同大学院 人間福祉学研究科 教授)

東京学芸大学大学院連合学校博士課程修了。博士(教育学)。滋賀県大津市、岐阜市立恵光学園で発達相談員を務め、愛知県立大学文学部教員を経て現職。心理士として発達相談活動・巡回相談、コンサルテーション・職員研修などに関わる。岐阜県児童審議会(認定こども園専門部会長)、日本臨床発達心理士会東海支部長などを務める。岐阜県などの巡回相談の実践をまとめ、発達障がい児の学習・生活支援の課題について提案する。

【指定討論】 堅田 明義 氏 (中部学院大学 学事顧問、東京学芸大学 名誉教授、日本特殊教育学会 元理事長)

草創期の時代から特殊教育学の発展に尽くし、また脳波による脳の発達の研究を行ってきた。その立場から、今回の討論をふまえ、過去の発達支援学・家庭福祉学の研究や実践の歴史的変遷、今後の研究展望について語る。

【コーディネーター】 平野 華織 氏 (中部学院大学 教育学部 准教授)

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。修士(社会福祉学)。社会福祉士。高等学校福祉科教員、日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター講師を経て現職。NPO 法人あい福祉オンブズマン活動において、地域の社会福祉施設、保育所の訪問相談などを務める。

- 16:50 ~ 18:30 懇親会 お申し込みおよび参加費(4,000円)が必要です。氏名・所属先・連絡先を明記の上、8月31日(木)までにメールまたはFAXでお申し込みください。
- [お問い合わせ・お申込み]



人間福祉学会事務局 (中部学院大学 総合研究センター内)

〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2-1 [TEL] 0575-24-2238

[FAX] 0575-29-3000 [E-mail] hwsoffice@chubu-gu.ac.jp

[Website] <http://www.shwb.jp>

